

3

Once upon a time, there were two old men, one with a lump on his right cheek and one with a lump on his left cheek, living next to each other.

The old man with the lump on his right cheek was always friendly and got along with anyone.

The old man with the lump on his left cheek, meanwhile, was always cold and did mean things, so he was hated and ignored by the people of the village.





5

One day, the old man with the lump on the right cheek went to the mountains to cut some trees.

He couldn't find any good trees to cut, and before he knew it, he was somewhere deep in the mountains.

After dark, he happened to find a shrine of the mountain god, and decided to spend the night there.

In the middle of the night, he suddenly woke up after hearing some noise.

When he slowly opened the door, he had a surprise.





むかし むかし、ある むらに、  
みぎの ほっぺに こぶの ある おじいさんと、  
ひだりの ほっぺに こぶの ある おじいさんが、  
となりどうしに すんでいました。

みぎの ほっぺに こぶの ある おじいさんは、  
いつも にこにこしていて、  
どんなひととも なかよくしていました。

ひだりの ほっぺに こぶの ある おじいさんは、  
しかめっつらで いじわるなこと ばかり  
していたので、むらの ひとびとから きらわれ、  
のけものに されて いました。





あるひ、みぎの ほっぺに こぶの ある  
おじいさんが、やまに きを きりに いきました。  
なかなか いい きが みつからず、  
きがつくと おじいさんは、  
ふかい やまおくに はいりこんでいました。

ひも くれて きたので、おじいさんは、  
たまたま みつけた やまの かみさまの  
おどうの なかで、よをあかすことに しました。

よなか、ふと ざわざわとした ものおとを きいて、  
おじいさんは めをさましました。

おどうの とびらを そっと あけてみて、  
おじいさんは おどろきました。

